1968～1969

大津ガバナー公式訪問報告書

鹿児島西ロータリークラブ

1968. 12. 11.

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か　どうか
2. みんなに　公平か
3. 好意と　友情を　深めるか
4. みんなのために　なるか　どうか

ローターリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し，特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として，知り合いを拡めていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること。
3. 各ロータリアンは，その個人生活，職業生活，社会生活の別なく，常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1968 ー 69年度目標

参加し
敢行しよう

1. 参加し敢行すること……………貴クラブにおいて

すべてのロータリアンは，何か所属クラブのためになることをすべきであります。各会員は，地域社会の指導的人物の一人を，クラブの会員として推薦することによって，ロータリーを分かち合うよう努力すること。

2. 参加し敢行すること……………職業を通じて

ロータリーの綱領を検討し，事業乃至専門的職業を通じて奉仕の理想を実践する方法を考究すること。

3. 参加し敢行すること……………地域社会づくりに

会員が直接に参加することのできる，1つの新しい有意義なクラブ計画を創案すること。地域社会が最も必要とする事項を知るため，年度の初期において法規励行，教育，青少年問題，レクリエーションその他の社会事業に関係ある有識者たちと協議すること。

4. 参加し敢行すること……………国際的接触を通じて

貴クラブと，海外のいずれかのロータリークラブとの提携を計ること。必要を満たす世界社会奉仕計画に参加し，また他の団体にも支援を求めること。

東ケ崎　　潔　R.I.会長

目　　次

クラブアッセンブリープログラム …… 1 頁
役員並びに委員名簿 …… 2
会長報告 …… 3
概況報告 …… 4
会計報告 …… 5
クラブサービス報告 …… 5
出席奨励委員会報告 …… 6
職業分類委員会報告 …… 8
会員選考委員会報告 …… 8
会員推薦委員会報告 …… 9
プログラム委員会報告 …… 9
広報委員会報告 …… 11
親睦委員会報告 …… 12
ローターリー情報委員会報告 …… 13
会報，雑誌委員会報告 …… 13
S.A.A報告 …… 14
職業奉仕委員会報告 …… 14
社会奉仕委員会報告 …… 15
青少年奉仕委員会報告 …… 16
国際奉仕委員会報告 …… 17

附表

昭和43年度予算書
会員名簿
職業分類一覧表（別紙）

クラブアッセンブリープログラム

1968．12．11

於　鶴　鳴　館

16：00〜16：01	開会の辞	副会長	佐伯延次郎
16：01〜16：04	ロータリーソング（奉仕の理想）斉唱		
16：04〜16：10	歓迎の辞及びガバナー分区代理紹介	会長	鮫島志芽太
16：10〜16：15	ガバナー挨拶	ガバナー	大津篤造
16：15〜16：25	会員自己紹介		
16：25〜	会長報告	会長	鮫島志芽太
	概況報告	幹事	柴山一雄
	会計報告	会計	岡山栄
	クラブサービス報告	会務担当	安楽慶一郎
	出席奨励委員会報告	委員長	川路清高
	職業分類委員会報告	〃	林幸光
	会員選考委員会報告	〃	名越時秀
	会員推薦委員会報告	〃	小山幸義
	プログラム委員会報告	〃	新福栄熊
	広報委員会報告	〃	牧田健二
	親睦委員会報告	〃	浜田馨
	ロータリー情報委員会報告	〃	衛藤右三郎
	会報・雑誌委員会報告	〃	川村洋
	S．A．A報告	S．A．A	幸泉芳良
	職業奉仕委員会報告	委員長	高田光義
	社会奉仕委員会報告	〃	岡元健一郎
	青少年奉仕委員会報告	〃	田平礼章
	国際奉仕委員会報告	〃	久保田彦穂
	講評	ガバナー	大津篤造
18：00	閉会の辞	幹事	柴山一雄
	懇談食事		
	ロータリーソング（手に手つないで）斉唱		

役員・委員名簿

1968－7～1969－6

会長（理事）	鮫島 志芽太
副会長（〃）	佐伯 延次郎
幹事	柴山 一雄
副幹事	高井 敏治
理事	安楽 慶一郎
〃	高田 光義
〃	岡元 健一郎
〃	田平 礼章
〃	久保田 彦穂
会計	岡山 栄
S.A.A	幸泉 芳良
副S.A.A	光吉 正昭

会務担当　安楽 慶一郎

出席奨励	◎川路清高	○神山光政	•黒木長太郎	•池田広
職業分類	◎林幸光	○河井時義	•高網博明	∘森川盛満
会員選考	◎名越時秀	○土橋英夫	•島津忠丸	
会員推薦	◎小山幸義	○名越時秀	•林幸光	
プログラム	◎新福栄熊	○福田敏之	•小山幸義	•池田稔
広報	◎牧田健二	○塘一郎	∘桜美四郎	•小池鉄太郎
親睦	◎浜田馨	○藤安辰造	∘久保政次	•増竹成紀
			•外西寿彦	•福田穣
ロータリー情報	◎衛藤右三郎	○倉園清市	•西郷隆永	
会報・雑誌	◎川村洋	○徳田基	∘川上鉄太郎	
職業奉仕	◎高田光義	○米倉秀雄	•栗川久雄	∘高義朗
社会奉仕	◎岡元健一郎	○岩元健吉	•木原良	•下野隆三
青少年奉仕 インターアクト	◎田平礼章	○春山ジャステン	∘若松新一	•桜美義明
国際奉仕	◎久保田彦穂	○岩田太一	∘岩元正二	•中村善治
ロータリー賞推薦	◎佐伯延次郎	○島津忠丸	•牧田健二	•川村洋
			•岡元健一郎	•福田敏之

会　長　報　告

会長　鮫島　志芽太

大津ガバナー，吉田分区代理をお迎えして，373区として第一回のガバナー公式訪問に当り，ロータリー活動の実践について全員協議会を開くことが出来ますことを会員皆様とともに喜びたいと存じます。

当クラブも六年間の経験を得て，すでに加治木クラブの結成によりロータリーの地区拡大を実践し，県下の先がけとなったインターアクトの実績も全国に注目され，また年次大会等には幾人かのリーダーを出すなど，順調な発展をとげて参りました。

新年度になりましてからは，新入会員13名が加入し，お互いにロータリーを分け合うことになりました。この間2名の退会を見ましたが，会員数はこのクラブの一応の理想的人容とされた55名になりました。これで私が去る7月就任当初にかかげました新年度方針の大部分が実行されたわけであります。私は感激をもって会員皆様の御協力に御礼申し上げます。

新年度方針の第二番目，親睦・友愛・心やすさ・ユーモア・協力一致というクラブの伝統的雰囲気をつくること，これも100%出席，財団寄付200%増などの実績や，例会の盛会さが示しておりますように，その目的を達成しつつあると思います。

ここで本年度方針の第三番目に加えたい項目があります。それはクラブでの私たちの役目を再認識することによって，地区年次大会など各種上級会合に対する会員の出席数を高めたいということであります。これは東ケ崎R．I会長の，いわゆる「参加し敢行する」ことの意義を体得することにもなると存じます。皆様とともに，このことを下半期の努力目標として何らかの工夫をこらしましょう。会員皆様の一層の御助力をお願いいたします。

最後に，きょうの協議が意義深く進行されることを望みます。

概　況　報　告

幹事　柴山一雄

1. 創立年月日	昭和38年3月23日
2. 承認年月日	昭和38年6月27日
3. チャーターメンバー	25名（内現会員　16名）
4. 本年度当初会員数	44名
	入会者　13名　退会者　2名
5. 現在会員数	正会員　51名　アディショナル正会員　1名
	シニア・アクチブ会員　3名　　計　55名
6. 平均年令	53才　最高　81才　最低　31才
	30才台　7名　40才台　12名
	50才台　21名　60才台　13名
	70才台　1名　80才台　1名
7. 出席率	99.92％　（42.12～43.11）
8. 予算	末尾の通り
9. 入会金	15.000円
10. 年会費	42.000円
11. ビジター会費	350円
12. 会報	週報　毎週発行
13. ロータリアン誌	5名購読
14. クラブアッセンブリー	4回（7月～11月）
15. クラブフォーラム	1回（　〃　）
16. 炉辺会合	委員会毎に1回開催
17. 理事会	定時理事会　毎月第2週例会後開催
	臨時理事会　必要に応じ適時開催
18. 県下R．C会長幹事会	本年度より年2回輪番で開催．
	お互いに意見の交換を行なっている。

会 計 報 告

会計　岡山　栄

基本方針

すべての財産と収支を常に明らかにし，クラブ活動が円滑に行われる様努力したい。

業　績

1. 毎月の収支は予算と対比した収支表を作成して理事会に提供している。

2. 本年度の予算は別紙の通りである。

計　画

新入会員の増加で当初予算より収入が増加したのでより活発な活動が出来るような予算の更正を考えたい。

クラブサービス報告

会務担当　安楽　慶一郎

基本方針

1. 会長の特に強調せられた方針の推進

(1) 会員の増勢

(2) 友愛を高めること

2. 年度計画の策定

3. 円滑な会務の運営

業　績

会長，幹事並びに各委員会の積極的活動によって，それぞれ目標を達成しつつあり，ケースバイケースの調整だけで会務は円滑に進行しているので特に連絡会議は実施しなかった。

1. 会長方針の推進

(1) 会員の増勢は１１月に目標の５５名に達した。

(2) 友愛を高めることについては各委員会にケースバイケースの調整を行っている。

2. 年度計画は７月末セットを終った。

3. 会員推薦委員会を特設して会員の増勢に成功した。

計　画

丁度良い時に公式訪問があったので此処で考えを新たにして円滑な会務の運営に当りたい。

今後について特に挙げると

1. 会長方針の友愛を深めることに更に努力をしたい。
2. 年次大会等に出席を促進する方法をクラブ全部の問題として考えて，出席奨励委員会を支援したい。

出席奨励委員会報告

委員長　川路清高

委員　神山光政

〃　黒木長太郎

〃　池田広

基本方針

出席率をさらに高めて，地区ベストテン以内の成績を保持すること。

業績

今年も出席率は地区内で第1位を得ている。

メークアップを滞り勝ちの会員には直接，或は電話等にて補充してもらうよう努めた。

計画

新入会員に，ロータリーの意義はまず出席することにあるということ，即ち，出席することによって親睦を増し，ロータリーに興味を持つようになることを情報委員を通じて徹底させたい。

メークアップの忘却習慣性会員には絶えず注意のベルを鳴らすこと。

例 会 出 席 状 況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メークアップ	出席訂正率	ゲスト	ビジター
269	43. 7. 4	44	36	8	81.82	8	100	0	15
270	11	45	36	9	80.00	9	100	1	18
271	18	45	35	10	77.78	10	100	2	15
272	25	45	33	12	73.33	12	100	2	21
273	8. 1	45	34	11	75.56	11	100	1	19
274	8	45	32	13	71.11	13	100	0	16
275	22	46	35	11	76.09	11	100	1	29
276	29	46	34	12	73.91	12	100	0	30
277	9. 5	46	38	8	82.61	8	100	4	32
278	12	46	35	11	76.09	11	100	0	19
279	19	46	37	9	80.43	9	100	1	24
280	26	46	36	10	78.26	10	100	0	15
281	10. 5	48	36	12	75.00	12	100	0	0
282	17	50	38	12	76.00	12	100	2	24
283	24	50	34	16	68.00	16	100	0	24
284	31	50	44	6	88.00	6	100	2	21
285	11. 7	50	38	12	76.00	12	100	1	17
286	14	53	40	13	75.47	13	100	0	21
287	21	54	36	18	66.67	18	100	0	19
288	28	54	39	15	72.22	15	100	1	18
20回	計	954	726	228	1524.35	228	2000	18	397
平均		47	36	11	76.21	11	100	1	20

職業分類委員会報告

委員長　林　　幸光
委　員　河井時義
〃　　　高網博明
〃　　　森川盛満

基本方針

地域内職業の実情に合う様な職業分類一覧表を作成して会員に配布し，クラブ拡大の会長方針に沿い，会員推薦委員会をして新会員の推薦を容易ならしめるよう，未充塡部門を明示するようにしたい。

業　績

委員会の開催

職業分類表の作成

計　画

1. 本年度既に１３名の新会員の加入をみたが更に会員の増加を推進したい。
2. 職業分類の再検討を行い度い。

会員選考委員会報告

委員長　名越時秀
委　員　土橋英夫
〃　　　島津忠丸

基本方針

1. 他の委員会就中職業分類委員会との連絡を密にし，クラブの充塡及び未充塡職業分類の一覧表を検討し，且つ開放された職業分類を充塡するよう適当な人物を理事会に推薦する。
2. 会員の選考に当っては情実を排し，厳正を旨とし，その人と成りに重点を置いて個人の品性と出席可能性を重視する。
3. そして調査判定の結果を理事会に報告する。

業　績

1. 年度始めに年間会員増加目標１０パーセント以上を計画したので上記基本方針に従い理事会に適当な人物を推薦した結果，現在までに１３名の新入会員増加を見た。

計　画

1. 未充塡職業分類については更に検討したい。

会員推薦委員会報告

委員長　小　山　幸　義
委　員　名　越　時　秀
〃　林　　　幸　光

基本方針

常にクラブの充塡及び未充塡職業分類一覧表を検討し，且つ開放された職業分類を充塡するよう進んで理事会に適格な人物を推薦するため積極的に行動する。

業　績

今期半ばに創設され，まだ日も浅いが，既に１３名の新会員に入会して戴いた事は本委員会の活動も力があった様に思います。

地域枠の問題が，事業所々在地のみならず，住居の方迄広義に適用してもらえるようになったので，今後，より一層活発に活動する事ができると思います。

プログラム委員会報告

委員長　新　福　栄　熊
委　員　福　田　敏　之
〃　小　山　幸　義
〃　池　田　　　稔

基本方針

奉仕の精神に則り，クラブの精神を織りこんで，全員が喜んできくようなプログラム編成に努力する。

内容はバランスとバラエテーを保ち，品格，有益，新和感，ユーモアのあるものとする。

このため，クラブの役員，各委員長，会員と密接な連絡を保ち卓話者の開発をはかる。

業　績

(1) 7月～11月28日までの実績は次の通りである。

- o ゲストの卓話………10回
- o クラブアッセンブリー，会員卓話………7回
- o 映　　画………　3回

(2) 会員との連絡をとって卓話者の開発をはかりつつある。

計　画

(1) 例会の卓話はゲスト50%，会員30%，映画20%で進める。

(2) 予定された例会より少くとも1ケ月前には卓話者が決定できるように計画する。

(3) 卓話者の紹介はプログラム委員が交替して行なうを原則とする。

卓 話 の 実 績

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
43.7.4				新会長幹事挨拶 新委員会活動方針発表	鮫島，柴山 (各委員長)
11	車えびの養殖と将来	鹿県水産試験場長	茂野邦彦		
18	最近の電信電話事情について	鹿電話局長	渡辺新吾		
25	帰国挨拶	交換学生	デヴイッド．クリストファー クリステン．イリー		
8.1	鹿児島市の街路樹	鹿大農学部教授	初島住彦		
8	(映画) ある陶磁器の系譜	南日本放送提供			
22	人権について	鹿地方法務局長	堤　武四郎		
29				リーダーシップフォーラム出席報告 例会後炉辺会合	鮫島，高田 田平
9.5	気象災害について	鹿地方気象台長	出淵重雄		
12				クラブアッセンブリー	
19	(映画) 都市決断の時	南日本放送提供			
26				婦人科医の手帳から (スライド映写)	外西寿彦
10.5				家族観月会(城山観光ホテル)	
17	労働力問題と所得政策	鹿経済大学教授	広崎　真八郎		

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
10.24				地区大会出席報告	鮫島，新福
31	鹿児島市のビジョン	鹿大助教授	吉野正治		
11.7	県庁と県民	鹿県県民課長	松林康文		
14				(スライド)国際理解のための財団	
21				クラブアッセンブリー	
28	心身障害児について	鹿大付属病院小児科部長	寺脇保		

広報委員会報告

委員長　牧田健二
委　員　塘　一郎
〃　桜美四郎
〃　小池鉄太郎

基本方針

ロータリー精神とクラブ活動の情報を，一般の人々に提供し，ロータリーに対する社会の認識と理解を深めるように努める。それには，

1. 会員各自にロータリーの情報を十分に把握してもらうと共に，更にロータリー情報，プログラム，会報雑誌の各委員会と密に連絡し，ロータリー活動状況の伝達に努める。
2. 地域社会への伝達については，新聞，ラジオ，テレビなどのマスコミ関係に，当クラブの興味ある正確な情報を提供し，一般社会のロータリーに対する理解を深めることに努める。
3. 会員各自のロータリー精神に基く生活と活動が，最も有力な広報力であることを自覚してもらう。

業　績

1. 年度の当初に，西ロータリークラブの構成メンバーと事業計画の大綱を，南日本新聞に掲載した。
2. その後クラブの活動，行事に関し，マスコミ関係に資料を提供し，たびたび新聞に報道された。

計　画

1. 本年度西ロータリー賞の受賞者を選考し，広報に努める。そのため7月末選考委員6名を決定した。
2. マスコミ関係者の例会出席をすすめる。
3. マスコミ関係者との座談会を実施する。
4. インターアクト活動の広報に努める。

親睦委員会報告

委員長　浜田　　馨
委　員　藤安辰造
　〃　　久保政次
　〃　　増竹成紀
　〃　　外西寿彦
　〃　　福田　　穰

基本方針

親睦こそロータリーの原動力であるとの信念に徹し，S．A．Aと連絡を密にし会員並びに家族の親睦の機会を創るよう努力する。

業　績

1. 毎月第1例会日にその月の該当者に誕生祝，結婚祝の記念品を贈り，尚誕生者にはバースデーソングを歌い祝福した。
2. 10月5日午後6時より城山観光ホテル庭園に於て，恒例の観月家族会を開催した。（参加者会員38名　家族53名）

計　画

1. クリスマスパーティー，春のピクニックの家族会を計画している。
2. 会員を中心とするゴルフ会を開催し親睦をはかる。
3. クラブ対抗の諸行事に積極的に参加し，他クラブとの親睦をはかる。

ロータリー情報委員会報告

委員長　衛　藤　右三郎
委　員　倉　園　清　市
〃　　　西　郷　隆　永

基本方針

新入会員がロータリーを理解し，ロータリアンとしての責務を自覚するように助言する。しかし，情報活動は単に情報委員の責任においてのみ行わるべきものでなく，広く理事会，特にクラブ担当理事，会報編集者，プログラム委員等と緊密な連絡協力の下に情報活動をすすめていきたい。

業　績

1. 新入会員には，入会前にインフォメーションを行なっている。
2. ロータリーに関する文献，資料を整理して，会員の研修に準備する。

計　画

1. プログラム委員と連絡を密にし，例会で3分間情報を行なうよう努めたい。（これは年輩会員が交替で多年の貴重な体験と深い見識とを発表してもらうことによって，会員がその恩典を受けると共に他面年輩会員の研修を促すことにもなる）
2. ロータリーの友の中から参考となる記事を紹介し情報に資することとしたい。

会報・雑誌委員会報告

委員長　川　村　　洋
委　員　徳　田　　基
〃　　　川　上　鉄太郎

基本方針

会員と役員間，クラブと国際R．C及び会員相互間のよき伝達機関となるべく努力する。

1. クラブ活動の活発化を促す。
2. 週報の内容に魅力をもたせ充実をはかる。
3. 会員の出席向上，親睦をはかる。

業　績

週報の発行

計　画

1. ロータリーの友ニュースによる「友」の主要記事紹介（「友」配布の例会を利用）
2. 各委員会及び会員のニュースを更に積極的に集める。
3. 週報に委員会の活動ニュース欄を設ける。

S・A・A報告

S.A.A　幸　泉　芳　良
副S.A.A　光　吉　正　昭

基本方針

当クラブの例会は和気あいあいたる雰囲気の中で秩序正しく，しかも能率的に進められてきており，ビジターの来訪の数も非常に多い。

これからも会員相互の親睦と理解の上に立って和やかな雰囲気をより以上に維持し盛りあげていきたい。

業　績

1. 友愛に満ちた例会を持つために早出し，会場の準備を終え気持ち良く来訪ロータリアン会員の方々を迎えている。
2. 親睦委員会と連絡を密にし，楽しいムードの漂う様に努力している。

計　画

更に会長，幹事，各委員会の連絡を密にし会員皆様のお気付きの点等よくお伺いし明るく楽しい雰囲気づくりに努力を致したい。

職業奉仕委員会報告

委員長　高　田　光　義
委　員　米　倉　秀　雄
〃　栗　川　久　雄
〃　高　　義　朗

基本方針

ロータリー精神の基本の主要な一つは各人の職業を通じて社会奉仕をすることであるということを会員に深めることを基本態度として努力したい。

業　績

1. 43年8月23日熊本に於いて開催された373区リーダーシップフォーラムに出席した。続いて，翌週開催されたファイアサイドミーチングでその模様を報告して今後の活動方針についての会員の意見を承った。

計　画

1. 職場訪問の実施

クラブに諮り訪問する職場を決定して貰って定例的（年二回位）関係委員会と協同して職場を訪問して，ロータリー精神を拡げる活動をする。訪問の際その職場に四つのテストの額を贈る。

2. 優良職業人の表彰を例年通り実施する。

3. 高校を卒業して就職するグループに対して職業人としてのありようについて意見交換をする機会をつくる。

年一回卒業期を前に行う。グループの選定はクラブに諮り関係委員会と共同して実行する。

社会奉仕委員会報告

委員長　岡　元　健一郎
委　員　岩　元　健　吉
〃　木　原　　　良
〃　下　野　隆　三

基本方針

所属地域社会をよく知り，何が最も切実に要求されているかを発見するように努める。当クラブでこれに対処し得る可能性を検討して，やれば出来ることから実行してゆき，地域社会の改善向上に奉仕したい。この際クラブ内の関係諸委員会，社会の関係諸団体との連けい，協力についても十分に考慮したい。

業　績

1. 現在当委員会および理事会で検討して，当市の西地域の適当な箇所に防犯街燈を寄贈することにしている。

2. プログラム委員会と連絡して地域内の福祉，公共，教育，教養，保健事業の実態を卓話のテーマに入れてもらうようにしている。

3. 年末助け合い運動の義援金を贈った。

計　画

1. 今年度内に他の関係委員会と相談して地域社会の向上に著しく貢献のあった人を選考して「ロータリー賞」を授与したい。その予算は本委員会予算でとってある。

2. 各種災害見舞，義援なども予算の範囲内で積極的に行いたい。

青少年奉仕委員会報告

委員長　田平礼章
委　員　春山ジャステン
〃　若松新一
〃　桜美義明

基本方針

青少年を正しく，明るく，健全に育成し活動せしめるよう，又不良化を防止するよう善導することに努力する。

業　績

1. ワンダーフォーゲルの鹿児島3R．C．の当番クラブになり宿舎の設営及び運営に万全を期した。又明治100年を記念するため「明治維新と鹿児島」を寄贈した。

2. インターアクトクラブのえびのにおける県下の連絡協議会及び地区協議会に参加し合同キャンプした。

又国際理解増強の手段として「生きた英語会話」のレコードを寄贈した。

3. 近くの幼稚園でワンダーフォーゲルの臨時宿舎として世話になった錦城幼稚園の運動会に寄付をした。

4. 地区大会の青少年奉仕部門に柴山幹事がリーダーを務めた。

尚柴山幹事は姉妹クラブ鶴岡クラブの設立した鶴岡高専インターアクトクラブの発会式並びに353区インターアクト大会に出席した。

計　画

1. インターアクトクラブの充実，会員と春山夫妻による英語会話の会をもつ予定。又派遣学生も招待したいと考えている。

2. 「あなたの若人を知れ」の内容調査及びその発表。

国際奉仕委員会報告

委員長　久保田　彦　穂
委　員　岩　田　太　一
〃　　　岩　元　正　二
〃　　　中　村　善　治

基本方針

1　日本を外国に理解してもらうと同時に2われわれ自身がそれぞれの国，人間を理解すること。

3　以上の線にそって，当クラブとして実現可能と思われるものより，手をつけていくこと。

業　績

1　日米交換学生の世話。

2　留学生を折にふれ招待。

3　ロータリー財団週間中の例会日に「国際理解のための財団」のスライドを映写し，又財団へ寄附（1人1ドル）した。

計　画

1. 日米交換学生の世話。
2. 世界理解週間中，留学生を例会に招待するほかクリスマスパーテイにインターアクトも一緒に招待する。
3. 鹿児島の風物，ロータリー活動の状況を他クラブと共同でカラースライドにおさめて，マッチクラブに贈り親善理解につとめる。
4. 児童画などマッチクラブと交換する。

附　　　　表

昭和 43 年度予算書

会　員　名　簿

職業分類一覧表（別紙）

昭和４３年度収支予算書

１９６８－７～１９６９－６

（収入の部）

費目	予算額	摘要
前年度繰越金	169,869	
年会費	2,100,000	21,000円×50名×2期
雑誌代	66,000	660円×50名×2期
入会金	90,000	15,000円×6名
ロータリー財団寄付金（入会時）	21,600	3,600円×6名
ビジター会食費	343,000	350円×980名
雑収入	17,000	預金利息外
合計	2,807,469	

（支出の部）

費目		予算額	摘要
事務局関係	人件費	427,500	事務員給料，夏期年末手当
	通信費	45,000	郵便料，電話料等
	事務用品費	13,000	事務用品一切
	印刷費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
	厚生福利費	20,000	健康保険料外
	旅費	10,000	諸車代
	図書費	7,000	新聞代外
	借室料	72,000	6,000円×12カ月
	小計	614,500	
委員会関係	出席奨励	50,000	表彰記念品代
	会員選考	1,000	
	職業分類	6,000	職業分類表印刷代
	親睦	100,000	誕生祝，結婚祝，ラッキー賞，家族会補助外

費目		予算額	摘要
委員会関係	プログラム	50.000	卓話謝礼
	ローターリー情報	20.000	ガバナー月信 500円×10 ローターリー手帳代 文献代等
	広報	5.000	
	会報，雑誌	120.000	週報用紙代，ローターリーの友代（66.000円）5周年記念誌代等
	職業奉仕	30.000	優良職業人表彰 工場見学費外
	社会奉仕	70.000	表彰関係，災害見舞外
	青少年奉仕	90.000	ワンダーフオゲル負担金，インターアクト援助外
	国際奉仕	80.000	交換学生受入負担金，万国博ローターリー組織委費用分担金（5000円）外
	小計	622.000	
国際ローターリー関係	人頭分担金	119.520	1.080円×44名 1.440円×50名
	ローターリー財団寄付金	18.000	360円×50名
	ローターリー財団寄付金（入会時）	21.600	3.600円×6名
	米山記念奨学寄付金	28.200	300円×44名 300円×50名
	小計	187.320	
地区関係	地区大会	55.000	分担金 1.000円×50名 参加拠出金 1.000円×5名
	地区協議会	50.000	登録料，旅費，宿泊費（3名）
	リーダーシップフォーラム	30.000	〃 〃 〃 （3名）
	地区資金	56.400	600円×44名 600円×50名
	地区国際青少年資金	18.800	200円×44名 200円×50名
	小計	210.200	
その他	会議費	50.000	会長，幹事会登録料，理事会，アッセンブリー補助外
	会食費	1.000.000	例会食事代
	雑費	30.000	前会長，幹事記念品代外
	備品費	30.000	
	小計	1.110.000	
予備費		63.449	
合計		2.807.469	

基金特別負担金予算書

費　　　　　目	予算額	摘　　　　　要
前年度繰越金	136.637	
基金特別負担金	30.000	5.000円×6名(新会員)
雑　　収　　入	8.000	預金利息
合　　　　計	174.637	

ニコニコ寄付予算書

費　　　　　目	予算額
ニコニコ寄付	120.000

会　員　名　簿

	氏　名	職業分類	勤	務	先	自　宅
1 A	安楽慶一郎	焼酎製造	安楽酒造㈱	代表取締役	宇宿町 246の1 県経農ビル内	高麗町 615
2 E	衛藤右三郎	建築設計	衛藤建築設計事務所	所長	西千石町 3の16	宇宿町2536
3 F	福田敏之	民間放送	㈱南日本放送	常務取締役	高麗町 17	草牟田町 4195
4	福田　穣	自動車販売	南九州三菱自動車販売㈱	取締役社長	照国町12の9	新屋敷町15の1 横小路ビル301
5	藤安辰造	味噌製造	藤安醸造㈱	取締役社長	住吉町6の15	住吉町6の20
6 H	林　幸光	洋楽	鹿児島短期大学	教授	永吉町450	西田町58の6
7	浜田　馨	酒類販売	㈲浜田酒店	取締役社長	高麗町192	同左
8	春山ジャステン	キリスト教(新教)	日本基督教団鹿地区	宣教師	上荒田町 137	同左
9	外西寿彦	産婦人科医(アデイショナル)	鹿児島市立病院	産婦人科部長	加治屋町 20	宇宿町 1153の10
10 I	岩元健吉	シニア．アクチブ(製綿)	カクイわた㈱	取締役社長	郡元町 927	郡元町1172
11	岩元正二	繊維品販売	山形屋商事㈱	常務取締役	堀江町 8	高麗町 143
12	岩田太一	和菓子製造	㈴明石屋菓子店	取締役社長	金生町 3	西千石町129
13	池田　広	放射線科医	池田放射線診療所	医師	上之園町 28	同左
14	池田　稔	食品加工	池田製菓㈱	専務取締役	錦江町3の2	上荒田町108
15 K	河井時義	外科医	河井外科医院	院長	高麗町183	同左
16	川村　洋	百貨店	㈱山形屋	常務取締役	金生町 3の1	下荒田町 2247
17	川路清高	医学教育	鹿児島大学医学部	教授	城山町7の82	新照院町154
18	川上鉄太郎	ホテル(日本式)	城山観光㈱	常務取締役	新照院町95	原良町1315

	氏　名	職業分類	勤　務		先	自　宅
19	黒木　長太郎	シニア，アクチブ（経済学教育）	鹿児島経済大学	学　長	下福元町 8850	原良町 1529
20	久保　政次	ゴム製品販売	㈱久保利商店	取締役社長	名山町1の4	大竜町4の16
21	久保田　彦穂	文　芸				長田町146
22	倉園　済市	信用金庫	鹿児島相互信用金庫	専務理事	泉町2の3	下荒田町72
23	栗川　久雄	高等学校	県立鶴丸高等学校	校　長	薬師町34	下荒田町 440
24	小山　幸義	ホテル（洋式）	㈱鹿児島ホテル鶴鳴館	取締役社長	城山町5の30	同　左
25	小池　鉄太郎	洋　画	鹿児島大学教育学部	教　授	上荒田町 1946	薬師町398
26	幸泉　芳良	鉄鋼販売	幸泉交易㈱	専務取締役	泉町3の7	伊敷町63
27	神山　光政	鉄道車輌修理	国鉄鹿児島工場	工場長	上荒田町800	郡元町24 唐湊国鉄宿舎
28	木原　良	短期金融	富士銀行鹿支店	支店長	金生町7の25	天保山町106
29 M	牧田　健二	内科医	牧田医院	院　長	上本町2の5	同　左
30	増竹　成紀	外国為替銀行	㈱三井銀行鹿支店	支店長	金生町5の1	薬師町32
31	光吉　正昭	請負業	小牧建設㈱	常務取締役	西千石町 2の35	鴨池町471
32	森川　盛満	ガレージ及びサービスステーション	㈱玉里自動車練習所	常務取締役	下伊敷町 292の7	原良町1450
33 N	名越　時秀	長期金融	㈱鹿児島銀行武町支店	支店長	武町　429	永吉町295
34	中村　善治	セメント販売	㈱神田商店	専務取締役	住吉町1の3	薬師町1374
35 O	岡元　健一郎	病　院	鹿児島大学付属病院	泌尿科部長	城山町8の3	城山町7の13
36	岡山　栄	会計士	岡山公認会計士事務所	所　長	薬師町53	同　左
37 S	西郷　隆永	電気器具販売	南九州コンバーター普及㈱	代表取締役	武町506 県医師会館内	鴨池町507

	氏　名	職業分類	勤　務		先	自　宅
38	桜美四郎	シニア，アクチブ（瓦斯供給）	桜ビルデイング㈱	取締役社長	武町 415	上之園町 37
39	桜美義明	雑貨販売	桜物産㈱	常務取締役	武町 415	上之園町 37
40	鮫島志芽太	新聞発行	㈱南日本新聞社	専務取締役	易居町 1の5	上荒田町62
41	佐伯延次郎	短期大学	鹿児島県立短期大学	学長	下伊敷町104	清水町 133
42	柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院	院長	山下町9の31	同左
43	島津忠丸	土木建築	新九州建設㈱	常務取締役	吉野町磯 9688	清水町 31の15
44	新福栄熊	自然科学	鹿児島経済大学	教授	下福元町 8850	玉里町3465
45	下野隆三	近海々運	㈱共進組	総務部長	易居町 11の19	原良町3135
46 T	高井敏治	砂糖販売	㈱高井商店	専務取締役	泉町 13の20	加治屋町 5の21
47	高田光義	石油販売	南国殖産㈱	常務取締役	武町 431 南国日本生命ビル内	天保山町 88の3
48	高綱博明	生命保険	日本生命保険鹿支社	支社長	武町 431 南国日本生命ビル内	谷山塩屋町字下笹貫 1668の1
49	高　幾朗	絹織物製造	大島紬撚糸工業㈱	専務取締役	鴨池町 999	同左
50	田平礼章	整形外科医	田平整形外科病院	副院長	加治屋町 16の5	加治屋町 11の17
51	土橋英夫	産婦人科医	土橋病院	院長	西田町 10	西田町 12
52	塘　一郎	工業教育	鹿児島大学工学部	教授	鴨池町 52	伊敷町 1の2 伊敷栄門住宅4号
53	徳田　恭	公証人	鹿児島公証人役場	公証人	山下町 17の12	照国町11の23
54 W	若松新一	澱粉製造	鹿児島物産化工㈱	総務部長	宇宿町 185	郡元町1389
55 Y	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長	加治屋町 20の17	吉野町9688